

### 3 改善したい生産環境

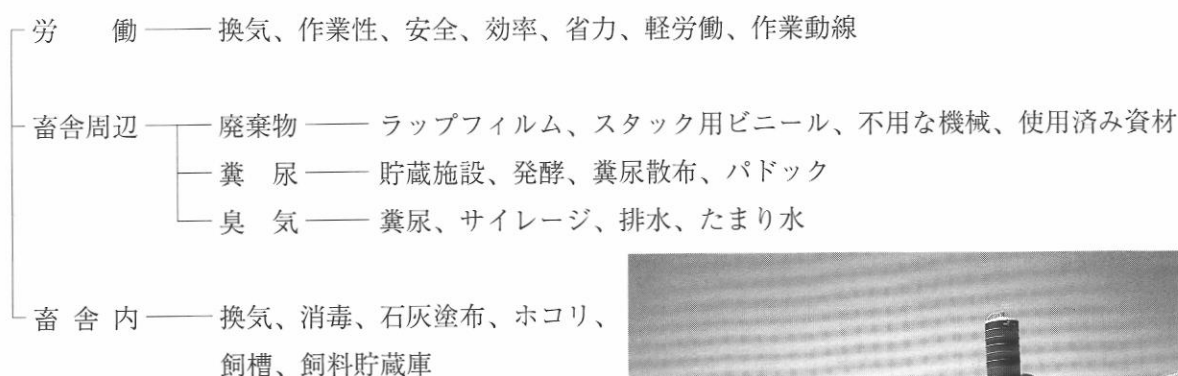


写真1 きれいな畜舎まわり

#### (1) 労働環境

働く側の環境です。つぎの二つを満足できる環境作りが大切です。

①気持ちよく働ける環境

②安全で作業効率の高まる環境

労働環境は、生産施設周辺のすべての環境が影響してきます。そして、その改善は確実に労働生産性の向上につながっていきます。

直線の作業であれば一度で終わる仕事を、曲がりがあるために、2回も3回も行ったり戻ったりしなければならない作業、ぶつからなくてもよいところでぶつかったりなど、小さなことを上げると改善できる部分をかなり見つけることができます。もし、改善するのに10時間かかったとしても、その改善のおかげで1日に30分の時間が儉約できるようになれば、20日間で改善に要した時間を取り戻すことができます。また、作業する人の安全性も大切です。

#### (2) 廃棄物の処理

電牧や木にひっかかっているラップフィルムを見ると、もの寂しい気持ちになります。畜舎周りにはかなりの量のラップフィルムが散在している農場を見かけます。

サイレージ添加剤の容器、壊れたカーフハッチ、使えない機械など畜舎周りには、不用なものも多く散在しています。いずれも腐るものではありません。やる気で処理しなければ、消えてなくなることはないのです。



写真2 きれいな畜舎内

#### (3) 糞尿処理

汚れで最も気になるのが糞尿です。糞尿は貴重な有機質肥料ではありますが、そのままではやはり汚いものです。糞尿問題については、いろいろな文献に書かれていますが、貯蔵・運搬・草地散布の動きが順調に流れている限り、汚染などの問題はほとんど起きません。しかも、糞尿を減らすことはできないので、それを散布しなければ溢れだしてしまいます。草地に糞尿を散布するのが今のところ最良の処理方法です。

#### (4) 臭気対策

酪農における不快な臭いの源は糞尿、不良発酵サイレージ排水、乳牛自身などいたるところにあります。臭いを発生させないためには、臭いの発生源となるものをできるだけ早く取り除くか、

腐敗をさせないことです。また、発生した臭いは、滞留させず換気をするなどの対策が大切です。

#### (5) 畜舎内環境

畜舎は、餌を食べ、寝る場でもあり乳牛はかなりの時間を畜舎内で過ごします。

ですから、畜舎の環境の善し悪しは、牛乳そのものの衛生にも、飼料の摂取量にも、快適な休養のためにも大きな影響を与えます。当然、乳牛がいかに快適に過ごせるかで、牛乳の生産量は大きく違ってきます。まさに経営主の技術です。

疾病のほとんどは畜舎内外から始まります。快適な環境で育った乳牛は、病原菌にも感染しづらいものです。畜舎内の病原菌の絶滅は大変難しいことですが、石灰塗布、石灰散布等で病原菌を少なくする対策を積極的に取り組みましょう。



写真3 整然と置かれたロールサイレージ

#### (6) 農機具類の整理整頓

畜舎周辺で目につくのが、放置された不用な農機具類です。現在使っている機械が故障した時に部品をとるために置いてあるという人もいますが、もっと整理した置き方があるはずです。

もう一つ気になるのが、現在使っている農機具の使用後の保守管理です。掃除、さび防止、グリスアップ、雨、雪を避けるための保管などで、農機具のトラブルはかなり抑えることができます。



写真4 堆肥舎



写真5 糞尿散布